

UE～結～なが 第49号

長崎県広域スポーツセンター

担当：野口 弥生

TEL：095-895-2781

R3.6発行

1. 県内総合型地域スポーツクラブ活動紹介

2. ニュースポーツの紹介

3. スポーツ推進委員について

1. 県内総合型地域スポーツクラブ活動状況紹介

東長崎総合型スポーツクラブ（長崎市）

各学校の部活動終了後に集まり、小学生1名、中学生4名が複雑なロボットを作成し、自立性ロボットを試行錯誤しながら、楽しくプログラミング教室に参加しておりました(o^-^o)

毎週火曜日/19:00~20:30

矢上団地地区センター

プログラミング会員：5名（2021.4.27時点）



プログラミングとは

自動販売機はお金を入れて買いたい飲み物のボタンを押すと、飲み物が取り出し口に出てくる仕組みになっています。これは、ボタンが押されると、押されたボタンに応じて該当の飲み物を一本取り出し口に送り出す、という動きをあらかじめ自動販売機に設定（プログラム）しておくことで、ボタンを押すだけで飲み物が出てきます。プログラミングとはこのように、コンピュータにさせたい仕事（処理）を順番に書いていくことです。

【プログラミングを学ぶ効果】

1. 論理的な思考能力
2. 想像力（創造力）
3. 問題解決能力
4. 自分の考えを伝える力（表現力）
5. IT機器やソフトウェアを使いこなす能力



2. ニュースポーツ紹介『ベビーバスケット』



ベビーバスケットとは

【参考】世界ゆるスポーツ協会

<https://yurusports.com/sports/babybasket>

もしもボールが赤ちゃんだったら・・・!?

「ベビーバスケ」は、激しく動かすと大声で泣き出してしまう特殊なボールを使ったバスケットボール。叩いたり、勢い良く投げたりするのはNGです。もちろンドリブルはできません(°Д°)

泣かせないように、そっとパスして、そっとキャッチ。プレイヤーの母性が試される、世界一ゆるいバスケットボールになります。

様子 【写真】世界ゆるスポーツ協会参照



ベビーバスケットボールについて

左記のピンク色の専用ボールは、内部にスマートフォンとスピーカーをセットし使用します。従来の設計と比べ、スマートフォンとスピーカーをセットしやすくなっております。

また、スピーカーはボールをレンタルする際の付属品としてお届けするため、お手持ちのスマートフォンひとつで、「ベビーバスケ」を楽しんでいただけます。

ルール

- 1 : 基本的にはバスケットボールと同じ。
ボールを味方ゴールプレイヤーの持つゆりかごへと入れるスポーツ。前後半5分ずつ。
- 2 : チームの人数は、1チーム5人。
フィールドプレイヤー4人、ゴールプレイヤー1人。
- 3 : ボールは特別仕様の「ベビーボール」。
激しく振ったり、ドリブルしたり、勢い良く投げたりすると、大きな声で泣いてしまいます。
- 4 : 試合中にボールを泣かせてしまうと、相手チームのボールになってしまいます。
- 5 : これらの行為もすべて、相手ボールとなります。
「子煩悩」・・・ボールを持ったプレイヤーが4歩以上歩くこと。
「過保護」・・・連続して3秒以上ボールを持ち続けること。
「ダイレクトベビー」・・・ボールを味方プレイヤーに直接手渡ししすること。
- 6 : 「授乳ゾーン」の中にあるゆりかごにボールを入れるとポイント。
ボールプレイヤーが「授乳ゾーン」内でゴールすると2ポイント、
外から投げ入れると3ポイントです。ゴールプレイヤーは必ずゆりかごを持たねばならず、
「授乳ゾーン」から出てはいけません。「授乳ゾーン」に相手チームは入れません。
- 7 : ボールを叩くなどの危険なプレーは、「アンマザーシップファウル」とみなされ、
相手チームにフリーベビー（フリースロー）が与えられます。
フリーベビーが成功すると、1ポイント。
ボールはやさしく扱きましょう。



3. スポーツ推進委員について



スポーツ推進委員とは

昭和32年文部事務次官通達により体育指導委員制度が発足。同36年に制定された「スポーツ振興法第19条」において、市区町村教育委員会任命の体育指導委員として法的に位置づけられました。

平成23年8月24日に施行されたスポーツ基本法により、従来の「体育指導委員」は「スポーツ推進委員」とみなすと規定され、また新たに「連絡調整等の職務」が加わり、文字どおり、地域スポーツ振興の推進役であるスポーツ推進委員のコーディネーターとして役割が一層期待されています。

長崎県には、21市町で合計754名（令和3年6月1日時点）のスポーツ推進委員の方がいます。

具体的な活動事例



- (1)総合型地域スポーツクラブの運営や活動補助
- (2)子どもの体力向上の推進事業（夏休み子ども水泳教室・マラソン大会・すもう大会など）
- (3)ニュースポーツ活動事業（ソフトバレー・インディアカ・グラウンドゴルフなど）
- (4)学校・地域・団体との連携事業（PTAのニュースポーツ普及講習会・ロードレース大会など）

総合型クラブとの連携事例について

佐々町には、総合型地域スポーツクラブ「さざ俱樂部」が設立されており、立ち上げ当初から、佐々町のスポーツ推進委員と連携して活動をしている。

事例としては、町内小学生を対象に月1回スポーツ（ストラックアウト／キャタピラー／キンボール等）の指導を行っている「佐々っ子スポーツ塾（5月～2月）」の開催。

また、ノルディックウォーキング体験教室や身体はバランス良く発達しているか等、人体成分の過不足を調査する検査InBody測定を実施する「サザンオールスターズ『体力テスト&ニュースポーツ』」の取組があります。

地域に根差して貢献するスポーツ推進委員と総合型地域スポーツクラブが連携している素晴らしい取組です☆彡